

おむつの定額制サービス（おむつサブスク）の導入について

【資料5】

現状と課題

【保護者】

- ・登園時におむつを持参
→おむつの記名
増える荷物



【保育施設】

- ・保護者から預かり
→園児ごとに管理
持参忘れの対応

導入のメリット

【保護者】

- ・おむつの記名が無くなる。
- ・おむつの在庫を気にしなくて済む。
- ・定額で使い放題

【保育施設】

- ・サイズ在庫管理のみ
- ・園児ごとの管理が不要
- ・持参忘れの対応が不要

保護者と保育施設において、おむつに費やしていた手間や負担が軽減され、こどもと向き合う時間が増える。

ニーズ調査結果(公立のみ抜粋)

- ・令和7年5月に実施(回答数150人)
- ・月2,500円程度でおむつのサブスクを利用したいと思うか？

思う
61.3%

- ・毎日の準備が楽
- ・名前書きが面倒
- ・忘れる心配がない
- ・料金が安い

- ・それほど楽にならない
- ・名前書きは面倒ではない
- ・料金が安い

思わない
38.7%

対象園児数の見込み

3歳でおむつが外れると想定し、0歳～2歳を対象とする。

0歳児：33人 1歳児：94人 2歳児 109人

合計 236人 ※園児数は令和7年7月現在

スケジュール

【事業者選定】

- ・令和7年9月
こども審議会において専門委員会を発足
- ・令和7年12月
プロポーザル方式で事業者を決定し、協定を締結

【利用開始までの流れ】

- ・令和8年1月
決定事業者による関係機関への説明会
- ・令和8年2月～3月
実証実験（無償提供）の実施
- ・令和8年4月
正式導入

**保育料第2子以降完全無償化に続く
本市の子育て支援施策の目玉事業**

おむつの定額制サービス（おむつサブスク）のイメージ図

